とある場合や、 ある場合は りが有効ということになります。

　このスジを利用した攻めはスジを利用した守りを逆利用した格好となっており、真中に近い牌である を切ってそのスジ牌の待ちにするというところがポイントです。

＜注意＞

しかし、いくらスジ牌の待ちだからといっても当たり牌がすでに場に何枚か切れていたら当然上がりにくいし、他の役とのからみもある場合やリーチをしないのであれば必ずしもそうした方が正解であるとはいえない場合もあります。